

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	放課後児童クラブの運営体制の基盤整備						掲載ページ		
							177		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局
		1,247,024	千円	1,389,985	千円	施策名	障害のある子どもへの支援	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	放課後児童クラブの全児童化に併せ、市民ニーズに応えられる運営内容を確保するため、研修会の実施、運営マニュアルの作成、開設時間の標準化や延長の推進等により、運営体制の充実を図ります。また、全児童化により、受け入れが増加する高学年児童や障害のある子どもへの対応が適切に行えるよう、指導員の資質向上を図ります。そのため、研修の充実、指導員相互の交流や情報交換、障害のある子どもなどの対応を支援するための臨床心理士等の巡回派遣を行います。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	指導員の資質向上を図るため、より実践的な研修に取り組みます。さらに、障害児を受け入れているクラブに臨床心理士を派遣し、指導員に助言等を行います。また、開設時間の標準化の推進に取り組みます。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)		【活動の状況】	
	18時30分以降まで開設している放課後児童クラブの割合 放課後児童クラブは多様な団体によって運営されていることから、クラブごとに開設時間などの運営状況に違いがあります。放課後児童クラブに対する様々なニーズに応えられるよう開設時間の標準化・延長をはじめ、運営の質を高めます。 (最終目標と最終年度)100%(26年度)	87.8 %	向上	96.8 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	障害のある児童の受入 全児童化により、受入が増加する障害のある児童への対応が適切に行えるよう、研修の充実や臨床心理士等の派遣により指導員の資質の向上を図ります。 (最終目標と最終年度)	195 人	障害児の受入促進	229 人	順調 やや遅れ 遅れ	順調	

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	経験年数に応じた階層別研修など実践的な研修の実施や、障害児受入クラブへの臨床心理士(巡回カウンセラー)の派遣指導といった指導員の資質向上に取り組んだ結果、障害児の受入が促進されています。また、開設時間の標準化に向けた協議をクラブと行い、18時30分以降まで開設しているクラブも増えています。有効性の高い取り組みと考えています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	障害児の受入に関しては、市に巡回カウンセラーを設置(雇用)し、必要に応じて各クラブに派遣して、指導員の助言にあたらせることができたため、各クラブで専門職を設置する場合に比べて低コストで効率的な取り組みと考えています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
巡回カウンセラーを増員し、指導員に対する助言等の充実を図ります。また、児童への対応の充実等を図るため、専門の見地から指導員に助言等を行うアドバイザーを新たに設置します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	総合療育センター等の専門スタッフの派遣						掲載ページ		
							177		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	保健福祉局
		67,706	千円	72,114	千円	施策名	障害のある子どもへの支援	担当課	障害福祉課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	保育所や幼稚園、放課後児童クラブ等に「総合療育センター」や「発達障害者支援センター」から専門スタッフを派遣し、指導・助言を行うとともに、保育士等の職員研修を充実することで、障害のある子どもの特性やかかわり方の理解を促進します。				活動実績	活動実績は下記のとおりです。	
活動計画	障害児保育を行う保育所及び障害児の通う学校等の職員に対し、在宅障害児(者)の療育に関する技術の指導を行います。							
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】	
	発達障害者支援センター及び地域支援室の指導実施件数		191 件	-	163 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	障害児保育を行う保育所及び障害児の通う学校等の職員に対し、在宅障害児(者)の療育に関する技術の指導を行うことは、保育所等の専門性向上の判断基準となることから、活動指標として掲げました。 (最終目標と最終年度)						順調	
					やや遅れ			
				遅れ				

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	指導件数は毎年増加し、本事業利用者を順調に伸ばしています。総合療育センターは、本市の障害児療育・支援の中核施設であり、また、総合療育センター等の専門スタッフによる保育所等職員の育成は、より多くの相談者の福祉向上、問題解決を効果的に実施することができることから市民の総合療育センターの機能充実に対する期待は大きいと考えます。
	「経済性」「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	指導を実施しているのは障害福祉に関して知識・経験を十分に有する職員であり、他の職員では同じ成果を得ることができません。また、総合療育センターは指定管理者制度を導入し、経済的・効率的な運営を行っています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
保育所や幼稚園などにおいても障害のある子どもが在籍しており、保育所等の職員の資質向上が必要であるため、専門スタッフによる指導事業引き続き実施します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	日中一時支援事業(放課後対策)の充実						掲載ページ		
							177		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	保健福祉局
		259,819	千円	262,154	千円	施策名	障害のある子どもへの支援	担当課	障害福祉課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	当該事業は、障害サービス指定事業所等において、市内に居住する障害児等を一時的に預かり、日常生活訓練等を行うことで、その者の有する能力及び適性に応じた日常生活または社会生活を営むことができるようにするとともに、障害児等を日常的に介護している家族の負担を軽減します。			活動実績 活動実績は下記のとおりです。
活動計画	放課後対策は障害福祉サービス事業者へ委託して実施していますが、事業者の新規参入を促し、受入定員の増加に努めるとともに、当該事業について保護者・関係団体と意見交換を行い、事業の充実を図るための検討を行います。				
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】
	日中一時支援事業(放課後対策)の受入定員数	296 人/日	330 人/日	300 人/日	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	本事業における受入定員数の増加により、利用待機者の減少につながるのと同時に、利用者の増加につながります。 (最終目標と最終年度) 平成26年度 330人/日			90.9 %	
	(最終目標と最終年度)				順調 やや遅れ 遅れ

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	受入定員数を増やす取組みとして、新規事業者の参入を呼びかけるとともに既存の事業者に定員枠拡大を依頼したことにより、受入定員も増加させることができ、当該事業の利用促進につながりました。新規事業所の参入等による受入定員増加に伴い、着実に利用件数等が伸びており、「障害のある子どもへの支援」に対する有効性は高いです。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	当該事業に関する業務を障害者(児)の介護及び療育にノウハウをもつ民間の事業者へ委託しており、経済性・効率性は高いと考えます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
重度障害児が利用しやすい制度にしてほしいとの要望や予算の状況を踏まえ、今後一層、事業の充実を図ります。より多くの重度障害児が利用できるような等、事業の充実を図るための検討を行います。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	小学生ふうせんバレーボール大会						掲載ページ		
							177		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	特別な家庭を支援する子どもや家庭への支援	担当局	保健福祉局
		2,400	千円	2,250	千円	施策名	障害のある子どもへの支援	担当課	障害福祉課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	障害のある小学生と障害のない小学生で構成されたチームによる「小学生ふうせんバレーボール大会」を開催し、障害のある子どもの社会参加の促進及びこころのバリアフリーの推進を図ります。			活動実績 活動実績は下記のとおりです。
活動計画	参加者数の増加につながるよう積極的に大会参加の呼びかけを行います。				
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】
	大会参加者数	440 人	-	542 人	大変順調
	参加者数の増加が、障害のある子どもの社会参加の促進及びこころのバリアフリーの推進につながることから指標として掲げました。 （最終目標と最終年度）26年度 参加人数550人				
				順調	大変順調
（最終目標と最終年度）			やや遅れ 遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	順調に参加者が増加しています。多くの方に参加していただき、障害のある子どもの社会参加の促進とこころのバリアフリーの推進を図ることができています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	大会の開催にあたっては、多くのボランティアの協力を得るなど経済的・効率的な運営に努めています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
今後とも、目的達成に向けて取り組み、より多くの子どもたちが参加し、保護者などの観客を含めた参加者の増加を目指します。参加者の増加や、ふうせんバレーボールの普及に取り組めます。